

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

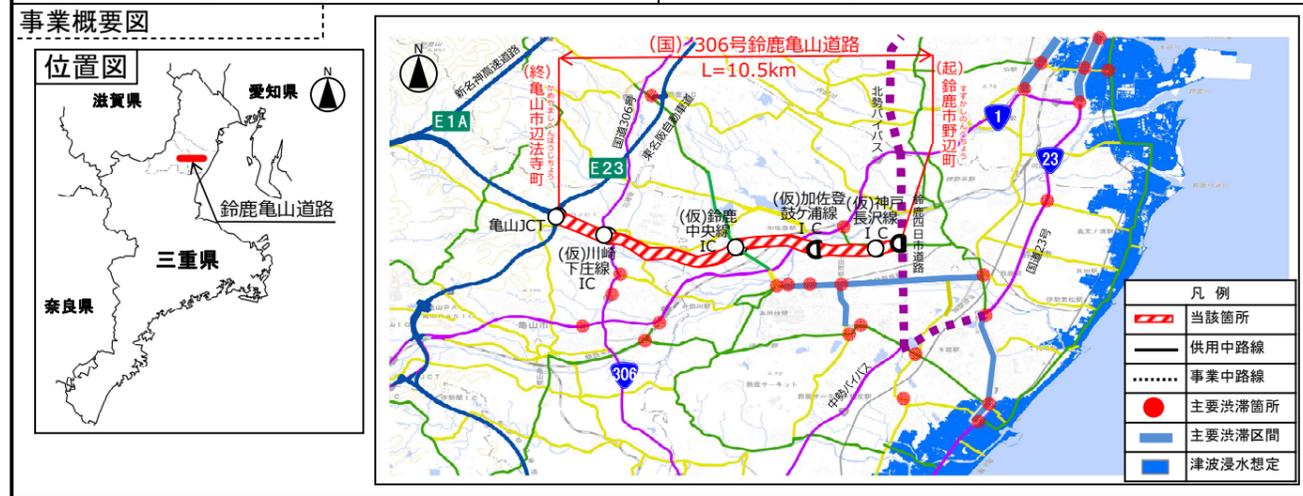
事業の概要

事業名	地域高規格道路 鈴鹿亀山道路 一般国道306号 鈴鹿亀山道路	事業区分	一般国道	事業主体	三重県
起終点	自：三重県鈴鹿市野辺町 至：三重県亀山市辺法寺町	延長	10.5km		

**事業概要**  
鈴鹿亀山道路は、亀山 JCT で東名阪自動車道、新名神高速道路と接続する地域高規格道路であり、地域の産業を支える社会基盤の充実、県内・県外の連携強化のための選択性のあるネットワークの確保、災害時にも社会活動を継続し、早期復元が可能となる道路機能の強化を目的とし、鈴鹿市野辺町～亀山市辺法寺町までの延長約 10.5km を整備するものである。

**事業の目的、必要性**  
当該事業の整備により、高速道路に接続する新たな東西軸を含むネットワークが形成されることで、地域産業の生産性の向上、ネットワークの選択性確保による広域連携強化、災害時も持続可能なネットワークによる防災性の向上が期待される。

全体事業費	約500億円	計画交通量	15,400～26,000台/日
-------	--------	-------	------------------



**関係する地方公共団体等の意見**

- 都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。
- 「三重県国土強靱化地域計画」(R2.10)の主な事業に位置付けられている。
- 沿線自治体で構成される「鈴鹿亀山道路建設促進期成同盟会」等より、早期整備の要望が行われている。
- 有料道路事業の活用などについて、今後検討を行う予定である。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**

- 三重県の公共事業評価により、新規事業化は妥当であると了承。

**事業採択の前提条件**

- 費用対便益：便益が費用を上回っている。
- 沿線市などから早期整備の要望を受けており、また都市計画決定も完了(R3.2.16)するなど、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.9	総費用：328億円 事業費：308億円 維持管理費：20億円	総便益：609億円 走行時間短縮便益：552億円 走行経費減少便益：35億円 交通事故減少便益：22億円	基準年 令和3年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.7 (交通量 -10%)	B/C=2.1 (交通量 +10%)	
	事業費変動	B/C=1.7 (事業費 +10%)	B/C=2.1 (事業費 -10%)		
		事業期間変動	B/C=1.7 (事業期間 +20%)	B/C=2.0 (事業期間 -20%)	

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎
事故対策		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業交通の転換による交通事故が減少</li> <li>市街地内における産業交通の転換促進により、産業交通と生活交通の混在が緩和することによる交通安全性向上で、交通事故が減少。</li> </ul>
歩行空間		—	・注目すべき影響はない。
社会全体への影響	住民生活	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急病院への所要時間の短縮</li> <li>第2次救急医療施設（鈴鹿中央総合病院、鈴鹿回生病院、亀山市立医療センター）へのアクセス向上が図られ、地域住民の生活環境が改善する。(野登小学校から鈴鹿中央総合病院まで 29分⇒21分(約8分短縮)) (鈴鹿中央病院の10分到達圏域(鈴鹿市)増加 24%⇒30%(約6%増加))</li> </ul>
	地域経済	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速道路アクセス・代替性の向上</li> <li>高速道路ICへのアクセス性向上による生産性向上。(鈴鹿市の高速道路15分圏域 38%⇒46%(約8%増加))</li> <li>ネットワークの選択性を確保。</li> </ul>
	災害	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなネットワーク形成による防災性向上</li> <li>第1次緊急輸送道路である高速道路から沿岸部に向かう新たなネットワーク形成による防災性向上。(浸水による国道1号・23号寸断時の鈴鹿市周辺へアクセス強化)</li> <li>広域防災拠点間の連携強化。</li> </ul>
	環境	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿道環境への影響軽減</li> <li>通過交通の転換、高速アクセス交通の分散による排出ガス、騒音などの沿道環境の軽減。</li> </ul>
	地域社会	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の利便性向上</li> <li>県内・県外の広域連携の強化による交流の促進。(鈴鹿市街地から亀山JCTまで 26分⇒15分(約11分短縮))</li> <li>鈴鹿亀山地域への通勤通学等、沿線住民の日常生活における移動を支援。</li> </ul>
事業実施環境			<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画決定完了(R3.2.16)</li> <li>「鈴鹿亀山道路建設促進期成同盟会」等から早期整備の要望を受けている。</li> </ul>

採択の理由

事業主体である三重県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.9と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、高速道路に接続する新たな東西軸の幹線道路整備により、地域産業の生産性向上、広域連携強化、防災性向上が見込まれることから、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。  
以上により、本事業は令和4年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。